

2025年総合労働条件改善闘争

速報③

CONTENTS

- ・ No.2 縮小交渉
- ・ No.3 縮小交渉 他

会社

組合

24年度着地に向け懸命に積み上げも、組合要求は重い 全組合員が交渉の行方に注目、踏み込んだ決断を

3月10日(月) No.2 縮小交渉、3月13日(木) No.3 縮小交渉で、労使双方が現時点での主張を展開した。

1 NTJU – NTCJ No.2 縮小交渉 3月10日(月) 10時～

組合

大手は明後日に回答指定日を控え、交渉は大詰めを迎えている。交渉内容は組合員も注目している。まずは、賃金水準改善について会社の見解について伺いたい。

会社

2024年度の当社業績は苦戦を強いられている。足元の経営が大変厳しい状況の中、60歳以降の賃金水準改善も検討しており、総額人件費が増加する賃金水準改善は慎重に判断していきたい。

組合

電機連合としては、ハドメ※を10,000円に設定したが、我々はこれを受けて今後論議することになる。今春闘に対する組合員の

※ストライキ回避基準となる最低基準

期待は非常に大きい。業績影響を見極める必要性は理解するが、一步踏み込んだ回答をお願いする。

会社

社会的責務と、将来への成長性を踏まえ、当社としてどこまで対応できるか引き続き他社動向なども注視しながら検討していきたい。

組合

京都の地場においては、意欲的な回答をする見込みの会社が多い。

会社

社員のモチベーション維持向上や今後の奮起につながる回答ができるよう、継続して検討する。

2 NTJU – NTCJ No.3 縮小交渉 3月13日(木) 10時～

組合

昨日、電機大手の回答が出揃った。回答にばらつきはあるものの、各労使で交渉した結果、昨年を上回る要求の趣旨をふまえ、ハドメからさらなる上積みした回答となっている。賃金改善は仕事のモチベーションに直結する。激しい環境変化の中で頑張っている組合員に報いる回答をお願いする。

会社

継続した賃上げによる、従業員のモチベーション向上、リテンション及び人材確保な

ど、「人への投資」の必要性は会社も認識している。2024年度の当社経営状況は非常に厳しく、2025年度の市況回復も不透明である中、持続的成長に向けてあらゆる施策に取り組んでいることを改めて認識いただきたい。そのような状況をふまえると、組合の要求と会社の実態との乖離は非常に大きい。その中で、最大限出来得る回答をしたいと考えている。限られた時間ではあるが、引き続き論議していきたい。

3 2025年総合労働条件改善闘争「闘争イベント」実施のお知らせ

今闘争を職場から盛り上げていくための「闘争イベント」として、
ショッピング商品引換券の配布※を予定しています！

詳細は Azalea号外 にて周知します。

※ショッピングが無い拠点の組合員にはQuoカードを配布。配布予定時期：ショッピング引換券:3月末/Quoカード:4月中